

I. 長期戦略テーマ別帳票

提出日

2025 年 7 月 31 日

テーマ「アントレプレナーシップ教育の推進」

長期戦略テーマの責任者
(統轄部署)研究推進社会連携機構長
土井 健司
(研究推進社会連携機構)

1. 長期戦略のテーマ

超長期ビジョン	長期戦略(テーマ名)	統轄部署
1 学士課程教育	(5) アントレプレナーシップ教育の推進	研究推進社会連携機構
内容 文部科学省は、アントレプレナーシップを「与えられた環境のみならず自ら枠を超えて行動を起こし、新たな価値を生み出していく精神」と定義している。この定義は、起業家の育成にとどまらず、汎用的な力の育成を目指すものであり、従来のビジネス教育とは一線を画している。文部科学省は、こうしたアントレプレナーシップ教育を全国の大学で推進することを強く期待しており、すべての学生が教育機会を得られる環境の整備に向けて、検討と支援を進めている。 本学では、こうした国の方針とも軌を一にしながら、アントレプレナーシップ教育を正課および正課外の両面から推進してきた。正課では、国際学部「ベンチャービジネス創成」、理学部「ベンチャー起業家講座」、総合政策学部「ベンチャーシーズ論」などの授業を通じて、アントレプレナーシップの基礎を学ぶ機会を提供している。 正課外では、社会連携・インキュベーション推進センターと協働する学生団体を中心に、企業と連携したワークショップや起業・キャリアに関するトークセッションなどを継続的に開催している。また、2017 年度に NUC で開講した「Kwansei Gakuin STARTUP ACADEMY (KGSA)」では、学生が半年間にわたり、実践的に事業開発・起業に必要なスキルを修得するプログラムを提供しており、2022 年度からは KSC でも実施している。さらに、毎年 100 回を超える個別メンタリングを実施し、事業プランの具体化と実現に向けた支援を行っている。加えて、「Kwansei Gakuin PITCH CONTEST」を開催し、自身の事業プランを発表する機会も提供している。 なお、当機構が提供するプログラムや学外からの情報の共有などを通じて、高等部や千里国際高等部をはじめ、継続校・提携校との連携も行っている。 2025 年 4 月には、KSC 隣接地にインキュベーション施設「Spark Base」を開設した。本施設は、①起業家の育成、②研究成果の社会実装、③地域課題の解決の三本柱を掲げている。学生・教職員に加え、兵庫県や三田市などの自治体、企業、地域住民といった多様な主体が交流・共創する場として機能し、起業や新規事業に関心を持つ人々が日常的に集い、対話と挑戦を重ねながら、新たな価値を創出する拠点となることを目指している。 このように、本学では、学生の興味・関心、知識・スキルの習得段階に応じた多層的な教育プログラムを整備し、アントレプレナーシップの醸成を図っている。一方で、プログラムの段階性の面ではさらなる工夫の余地があり、今後は Spark Base を拠点として、より体系的かつ持続可能な教育環境の整備を進めていく。		

I. 長期戦略テーマ別帳票

提出日

2025 年 7 月 31 日

テーマ「アントレプレナーシップ教育の推進」

長期戦略テーマの責任者
(統轄部署)研究推進社会連携機構長
土井 健司
(研究推進社会連携機構)

指標1

指標	内容					
指標名	アントレプレナーシップ教育プログラムの参加率					
定義・算式	アントレプレナーシップ人材育成を目的として実施するイベントやプログラムの参加学生の割合 ◆定義 対象イベント・プログラム: ① 当機構及び当機構に属する組織・団体が主催するもの(開催場所は不問、オンラインイベント含む) ② 当機構に属する教職員が関わる正課授業 参加学生数: 対象イベントに参加した本学学生数(実数) 在籍学生数: 学部生数、大学院生数 ◆算式 参加学生数を在籍学生数で除する					
現状値 (指標設定時)	—					
目標値	フェーズ1終了時(2021 年度)		フェーズ2終了時(2024 年度)		フェーズ3終了時(2027 年度)	
			3.3%		5.0%	
実績値	2019 年度		2022 年度		2025 年度	
	2020 年度		2023 年度	2.9%	2026 年度	
	2021 年度		2024 年度	3.1%	2027 年度	

指標2

指標	内容					
指標名	Kwansei Gakuin STARTUP ACADEMY 受講生の Kwansei コンピテンシー					
定義・算式	KGSA の受講後のアンケートにより、コンピテンシーがどの程度身についたかを確認する。 ◆定義 対象学生: KGSA の受講生 Kwansei コンピテンシー: 「主体的に行動する力」「豊かな人間関係を築く力」「対立する価値を調整する力」「困難を乗り越える粘り強さ」「よりよい社会に変革する情熱」 ◆算式 KGSA の受講終了後、コンピテンシーがどの程度身についたかを問うアンケートを実施し、結果を点数化(4 点満点)					
現状値 (指標設定時)						
目標値	フェーズ1終了時(2021 年度)		フェーズ2終了時(2024 年度)		フェーズ3終了時(2027 年度)	
			3.3		3.8	
実績値	2019 年度		2022 年度	—	2025 年度	
	2020 年度		2023 年度	—	2026 年度	
	2021 年度		2024 年度	3.6	2027 年度	

I. 長期戦略テーマ別帳票

提出日

2025 年 7 月 31 日

テーマ「アントレプレナーシップ教育の推進」

長期戦略テーマの責任者
(統轄部署)研究推進社会連携機構長
土井 健司
(研究推進社会連携機構)

指標3

指標	内容					
指標名	指標1の参加学生のうち起業した人数(累計)					
定義・算式	◆定義 対象者: 指標1の対象イベント・プログラムに参加した学生(卒業生含む) 起業した人: 営利/非営利法人を設立した創業メンバー(卒業後の起業も含む)					
現状値 (指標設定時)						
目標値	フェーズ1終了時(2021 年度)		フェーズ2終了時(2024 年度)		フェーズ3終了時(2027 年度)	
			4 人		16 人	
実績値	2019 年度		2022 年度		2025 年度	
	2020 年度		2023 年度	1 名	2026 年度	
	2021 年度		2024 年度	7 名	2027 年度	

2. 実施計画ロードマップ

実施計画		担当部署	学部・研究 科での 取組み有/ 無	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
①	アントレプレナーシップ教育に資する各種施策の実施	研究推進社会連携機構	必要なし	3年間			3年間			3年間		
②	Spark Base の運営体制の構築と魅力ある拠点の実現	研究推進社会連携機構、KSC事務局	必要なし						4年間			
③	(再掲)ひょうごスタートアップアカデミーへの参画	高等部	必要なし				3年間			3年間		
④												
【備考欄】												

※想定される実施計画の例示

- ①KSC のキャンパスコンセプトの策定
- ②産官学連携事業・KSC 街づくり構想の立案
- ③居住施設の確保
- ④革新的な教育システムの確立
- ⑤KSC 独自のマネジメントシステムの検討
- ⑥広報戦略の策定と広報力強化

I. 長期戦略テーマ別帳票

提出日

2025 年 7 月 31 日

テーマ「アントレプレナーシップ教育の推進」

長期戦略テーマの責任者
(統轄部署)研究推進社会連携機構長
土井 健司
(研究推進社会連携機構)

3. 本長期戦略テーマの各実施計画に関する費用、人員の合計(2019 年度～2027 年度)

◆フェーズⅠ: 2019 年度～2021 年度

費用計画・人員計画 (単位: 万円)	2019 年度	2020 年度	2021 年度
経費合計	非公開		
人件費合計			
総計(経費+人件費)			

◆フェーズⅡ: 2022 年度～2024 年度

費用計画・人員計画 (単位: 万円)	2022 年度	2023 年度	2024 年度
経費合計	非公開		
人件費合計			
総計(経費+人件費)			

◆フェーズⅢ: 2025 年度～2027 年度

費用計画・人員計画 (単位: 万円)	2025 年度	2026 年度	2027 年度
経費合計	非公開		
人件費合計			
総計(経費+人件費)			

4. 進捗状況等記入欄

	進捗状況および今後の課題、方向性
2019 年度	
2020 年度	
2021 年度	
2022 年度	
2023 年度	◆進捗状況 起業に関心のある学生層を増やす(すそ野拡大)のために、正課授業(国際、理、総合政策)のサポート、学生団体と協働したイベント実施を行っている。また、起業を目指す学生を対象に Kwansei Gakuin STARTUP ACADEMY の実施や個別メンタリングなどを実施している。 ◆今後の課題、方向性 引き続き、学生の興味・関心に応じた段階的なプログラムの提供を行う。さらに KSC インキュベーション施設を拠点として、多くの学生がアントレプレナーシップ人材育成に資するイベントやプログラムに参加できるよう機会の創出を行う。 一方、イベント等の企画を実質的に担う専任職員は 1 名のみである。機会創出をおこなうため運営体制の充実が課題である。
2024 年度	◆進捗状況 2024 年度は、「アントレプレナーシップ教育の推進」を長期戦略のテーマとして掲げた初年度である。アントレプレナーシップの修得や発揮といった各段階にある学生に対し、段階に応じたプログラムを提供した。具体的には、関心層の拡大を目的として、正課授業(国際学部、理学部、総合政策学部)の支援や、学生団体と連携したキャリア形成をテーマとする対話型トークイベントを実施した。あわせて、起業を志向する学生には「Kwansei Gakuin STARTUP ACADEMY (KGSA)」の開講や個別メンタリングを通じた支援を継続した。

I. 長期戦略テーマ別帳票

提出日

2025 年 7 月 31 日

テーマ「アントレプレナーシップ教育の推進」

長期戦略テーマの責任者
(統轄部署)研究推進社会連携機構長
土井 健司
(研究推進社会連携機構)

	また、2025 年春に開設予定のインキュベーション施設「Spark Base」については、運営ルールを策定するとともに、認知向上と学内外ネットワークの形成を目的としたプレイベントを複数回実施した。 ◆今後の課題 学生の関心やスキルに応じた段階的プログラムの提供に取り組んでいるが、現状ではプログラム数が限られ、段階間に連続性を欠いている。今後は Spark Base を拠点に、学内外の支援者と連携し、体系的かつ持続可能なプログラム設計と実施体制の整備が求められる。
2025 年度	
2026 年度	
2027 年度	